CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい　新築」2018年版　(v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい　新築」2018年版　(v.1.2

1-1 建物概要

建物名称	大阪実践倫理会館建替	
建設地	北区同心1丁目	
建築用途	事務所	
建築主		
設計者		
敷地面積	1,286.25	㎡
建築面積	1,060.68	㎡
延床面積	4,996.85	㎡
構造/階数	S造 /	地上5階、地下1階
完了年(予定)	2026年8月	

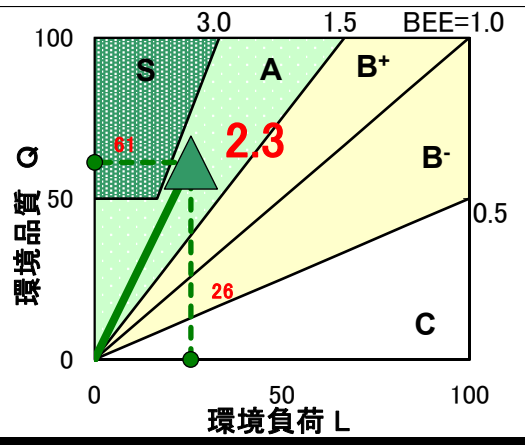
1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

A

BEE =2.3

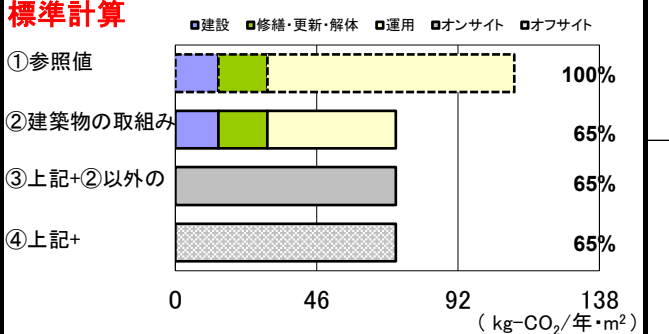
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

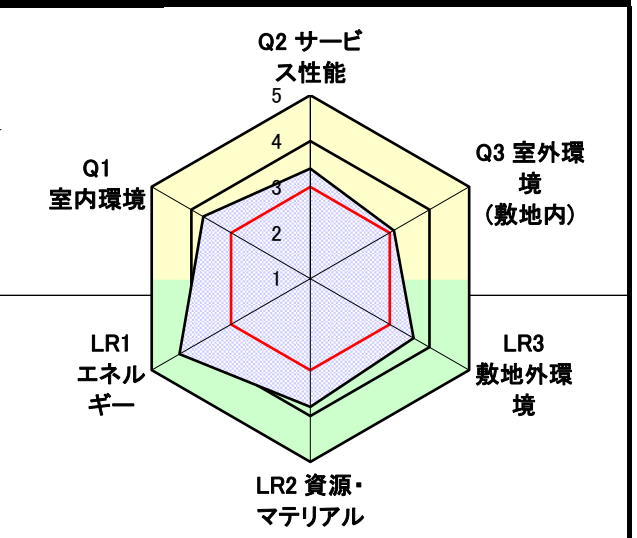
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

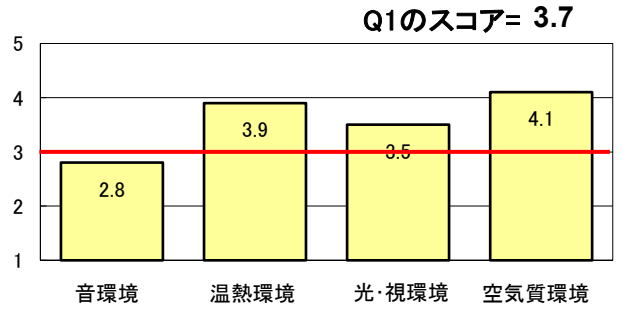


ラベル表示　有

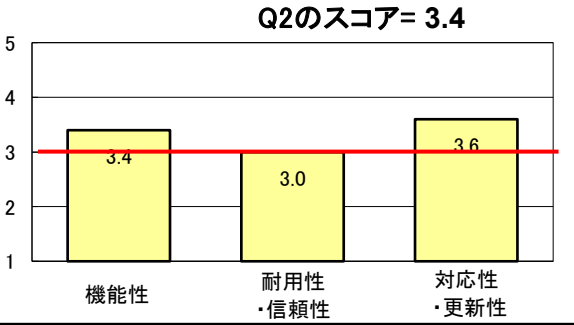
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.4

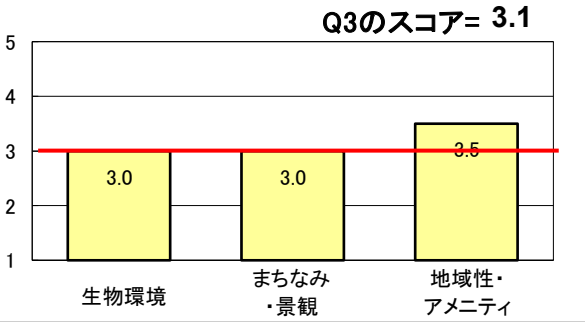
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.7



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.4

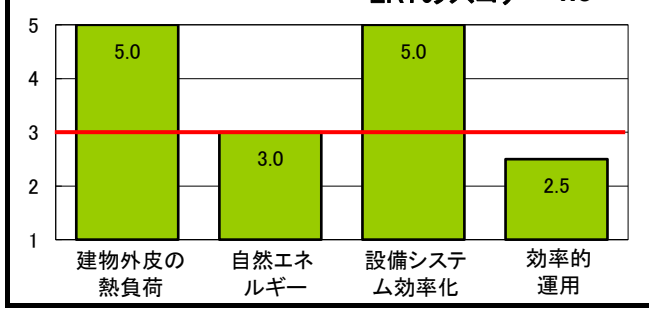


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.1

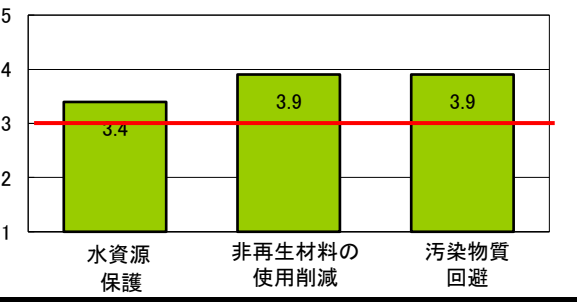


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.9

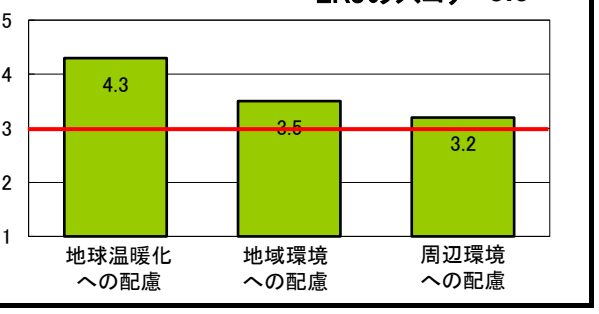
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.8



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.6



3 設計上の配慮事項

総合

自然との共生を目指し、省エネルギー技術の導入と自然へ配慮した設備システムを採用する。利用者は幅広い年齢層を想定した計画であるため、安心安全に過ごせるようにウイルス対策にも配慮している。

その他

ウイルス対策として、紫外線照射装置や非接触技術の導入を行う。

Q1 室内環境

内装材は、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

Q2 サービス性能

十分な広さの執務スペースや階高を確保している。

Q3 室外環境（敷地内）

インナーバルコニーでは、光・緑・風を取り入れ開放的な空間をうまく内部空間と連続させている。

LR1 エネルギー

LED照明の設置。

LR2 資源・マテリアル

節水便器　節水水栓を採用している。

LR3 敷地外環境

光害対策ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝﾁｪｯｸﾘｽﾄの過半を満たす

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　2.3

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	4.3	
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率:　65%としてCO2の排出を抑制し、地球温暖化に配慮をしている。		

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	3.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	4.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0	
配慮事項	敷地内にできる限りの緑化をしている		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	5.0	
配慮事項	BPIm:0.53		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	5.0	
配慮事項	高効率な設備により、ライフサイクルCO2の排出を抑制している		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

	住宅部分 (品確法等級)		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	-	(相当)	0.53

	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	0.52	-	0.52